

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	232	1年	後期	看護学科	必修	家族看護論 Family Nursing	15	1
担当教員								
中平	洋子							
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
看護学における家族の概念、家族を理解する諸理論、家族アセスメントの視点を学ぶ。また、家族の病気体験の理解から、家族への支援について考えることができる。								
到達目標（授業目標）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>看護学において家族をどのように捉えているかを説明できる。</li> <li>家族理解に役立つ諸理論を説明できる。</li> <li>家族アセスメントの視点を説明できる。</li> <li>家族員が病気になることによる家族への影響について説明できる。</li> <li>家族の多様性を認め、家族を単位として援助することの意義を説明できる。</li> <li>家族との援助関係形成時の基本的姿勢を説明できる。</li> </ul>								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	家族看護とは（中平洋子）							
2回	家族を捉える視点、家族看護に活用できる理論（中平洋子）							
3回	家族の病気体験の理解①-1（中平洋子）							
4回	家族の病気体験の理解①-2（中平洋子）							

5回	家族の病気体験の理解②-1 (中平洋子)								
6回	家族の病気体験の理解②-2 (中平洋子)								
7回	家族看護に活用できる理論 (中平洋子)								
8回	家族支援の実際 (教育協力者、中平洋子)								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
試験 (最終レポート) 70%、個人課題30% (20%、10%)。トータル60点以上を合格とする。									
教科書	鈴木和子・渡辺裕子「家族看護学－理論と実践」 (日本看護協会出版会)								
参考図書等	荒賀直子・後閑容子「公衆衛生看護学.jp第5版」 (インターメディカル)								
授業時間外の学習について (授業準備のための指示)									
課題が数回あります。									
関連科目									
前科目	240 看護アセスメントⅠ								
後科目	240 看護アセスメントⅠ		各領域の対象論、方						
実務家教員									
保健師 (行政機関)	中平 洋子								
備考	3.4回、及び5.6回は2コマ続きます。								